

横須賀刑務支所における就労支援の現状について

1 当支所における就労支援実施状況

当支所は、平成 29 年に就労支援強化施設に選定され、当支所就労支援スタッフの配置及び横須賀公共職業安定所（以下「ハローワーク横須賀」という。）専門援助部門職員 2 名の駐在による同業務強化が図られた。

なお、平成 26 年から昨年までの当支所における就労支援実施状況については、下表のとおりである。

ハローワーク横須賀職員常駐前				
	支援対象者	面接実施者	内定者	内定率
平成 26 年	25 名	3 名	3 名	100%
平成 27 年	46 名	16 名	14 名	88%
平成 28 年	42 名	15 名	11 名	73%
ハローワーク横須賀職員常駐後				
平成 29 年	47 名	39 名	35 名	90%
平成 30 年	29 名	32 名	25 名	78%
令和元年	38 名	37 名	31 名	84%
令和 2 年	36 名	25 名	19 名	76%
令和 3 年	23 名	18 名	14 名	78%
令和 4 年	30 名	18 名	18 名	100%
令和 5 年	18 名	19 名	15 名	79%
令和 6 年	19 名	14 名	12 名	86%
令和 7 年	28 名	22 名	16 名	73%
令和 8 年※7月1日現在	16 名	8 名	7 名	88%

以上のとおり、就労支援強化施設に選定され、ハローワーク横須賀からの協力を得たことで、平成 29 年度以降、飛躍的に内定率が上昇した。

しかしながら、令和 2 年、3 年度及び 4 年度については、コロナ禍にあり、採用面接をテレビ遠隔通信システムによる面接に変更する等の感染防止対策を行いながらの就労支援業務の実施となり、やや下降した結果となったが、令和 4 年度については、採用面接実施者 18 名に対し、内定者 18 名であり、面接を実施した者すべてが、内定するという結果であった。令和 5 年度からは、施設内の耐震工事に伴う収容調整により、収容人員が減少したことが要因となり支援対象者が減少した。しかし、内定率は 80 パーセント前後の高い割合で推移している。

2 就労支援フォーラム（企業説明会）について

ハローワークと協賛の上、毎年1回（本年は6月25日に実施）就労支援フォーラムを実施している。主に協力雇用主である企業3社ほどに対し、当支所において、企業ごとに各々の業務内容、形態及び就業条件等を直接、受刑者に対し、説明をするものであり、企業選択及び連絡に関し、ハローワーク職員を通じて、計画・実施している。

3 就労支援講話

毎年6月頃（本年は6月12日に実施）に、受刑者に対する就労意欲の喚起及び向上を目的として、実際に出所者等の雇用歴のある企業による講話を実施している。

4 企業訪問について

企業訪問については、刑務所の担当者、スタッフ及びハローワーク職員が、当支所からの出所者のうち、雇用歴のある企業を中心に、勤務状況の把握及び企業側の要望・希望等の聴取を行い、就労支援の充実及び定着就労を図ることを目的として、各企業を訪問することを行っている。